

令和 4 年度

事業報告書

社会福祉法人

草加市社会福祉事業団

目 次

総 括	・・・・・・・・	1 頁
事 務 局	・・・・・・・・	4 頁
草加市立養護老人ホーム松楽苑	・・・・・・・・	10 頁
草加市障害福祉サービス事業所つばさの森	・・・・・・・・	16 頁
草加市総合福祉センターであいの森	・・・・・・・・	23 頁
草加市在宅福祉センターきくの里	・・・・・・・・	37 頁
草加市高年者福祉センターふれあいの里	・・・・・・・・	48 頁
草加市障害者グループホームひまわりの郷	・・・・・・・・	55 頁
障害者総合支援センター	・・・・・・・・	59 頁
生活介護事業所そよかぜの森	・・・・・・・・	67 頁

総 括

当事業団は、あなたの笑顔が、私たちのよろこびですというサービス理念を実現すべく、これまで培ってきた知識・経験を活かしながら利用者サービスの充実を図り、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）対策を実施しつつ、利用者本位の福祉サービスの提供や地域福祉の発展に努めてまいりました。

当事業団の主要資源である「人財」を最大限に有効活用するため、草加市や各施設・事業所において利用者ニーズを把握し、より安心・安全な福祉サービスの提供が可能となるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和4年度の主な取組としては、指定管理施設のうち、つばさの森及びきくの里においては新規事業の開始にかかる申請を、公募による指定管理者選定のふれあいの里、随意指定によるひまわりの郷においては令和5年度からの次期指定申請等事務を含め、適切に手続を進めました。

また、令和5年度以降の中期経営基本計画については、副施設長を中心に検討会議を重ね、さらに、地域における福祉サービスの質の向上を図りながら、安定した施設・事業運営を推進するため、次の事項に積極的に取り組みました。

I 安心・安全な専門性の高いサービス

草加市や草加市社会福祉ネットワーク、その他関係機関との連携を強化し、各事業についても指定管理者や業務の受託者としての自覚と責任を持って安心・安全な運営を行う中、より良いサービスの提供と信頼される施設と事業の運営を図るため、職員一丸となって経営の改善及びサービスの充実向上に努めました。

また、新型コロナウイルス感染時の対応について、利用者、職員の健康上の安全を最優先に考え、施設機能の制限解除後も感染拡大防止対策を講じた施設運営、施設間での職員の応援体制等の対策を実施しました。

II 地域との共生

国が進めている地域共生社会の実現に向けて、地域包括支援センターや基幹相談支援センターなどの専門的な相談窓口だけではなく、施設に来館された利用者やご家族の様子や状態を見て、積極的に声を掛け、その相談内容に応じて関係機関等の専門的な相談窓口に繋げ、地域で暮らしやすい環境づくりに努めました。

III 経営基盤の確立について

安定した経営を実現するために、随意契約による見積合わせ及び一般競争入札参加業者の新規開拓を行うなど経費節減に努めました。

また、電気料金等の高騰に伴い、水道光熱費等の支出が著しく増加しました

が、埼玉県補助金等の活用や草加市と補正予算について協議をすることで財源の確保に努めました。

IV 経営の透明性の確保と継続的な改善

法人経営の透明性を確保するうえで、顧問税理士、社会保険労務士、労働基準監督署、草加市福祉部局等に適宜相談し、内部統制機能を強化し、健全な事業運営や適正な財務諸表の作成に努めました。

また、事業団ホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用するとともに事業団の広報誌については、これまでの年1回から年3回に発行回数を増加し、広報活動を強化するなど、経営の透明性の確保に努めました。

V 人材の確保・育成について

人材の確保については、随時、職員採用試験を実施し、職務限定正規職員として、看護職員を採用するとともに、草加市内の社会福祉法人等で組織する草加市社会福祉ネットワークにおいて、合同面接会を開催し、採用に繋げることができました。

また、人材の育成面についても、事業団主催の新人職員研修や他機関が開催する外部研修（オンライン研修含む）などを積極的に取り入れるほか、草加市社会福祉ネットワーク主催の研修を企画し参加することで、職員の意識改革や資質の向上を図りました。

VI 安全対策について

草加市と連携し、福祉避難所としての役割を再確認するとともに、非常災害対策計画をもとに、有事に職員が適切な行動がとれるよう防災対策を図りました。

また、災害時に備え、避難確保計画を策定し、職員による避難経路の安全点検や取り組む業務の明確化を図るとともに、利用者を含めた定期的な避難訓練等を行い、職員の危機管理意識と災害対応スキル向上に努めました。

さらに、新型コロナウイルス対策として、消毒液の設置、職員のマスクの着用、職員や利用者への検温等を継続して実施しました。

組織一覧

(単位：人)

組 織 名	所 在 地	開設年度	入所定数	職員数
事 務 局	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	昭和 6 3 年	—	5 (5)
養 護 老 人 ホ ー ム 松 楽 苑	草加市柿木町 1 8 8 番地	昭和 5 1 年	5 0	10 (10)
障害福祉サービス事業所つばさの森	草加市柿木町 1 1 0 5 番地 2	平成元年	8 0	9 (13)
総合福祉センターであいの森	草加市柿木町 2 6 1 番地 1	平成 4 年	—	8 (18)
在 宅 福 祉 セ ン タ ー き く の 里	草加市谷塚上町 7 0 4 番地 3	平成 1 3 年	—	14 (11)
	草加市瀬崎 五丁目 2 0 番 1 6 号			
高年者福祉センターふれあいの里	草加市新里町 1 0 6 番地 6	平成 1 7 年	—	4 (3)
障害者グループホームひまわりの郷	草加市柿木町 1 1 0 4 番地	平成 2 2 年	3 0	10 (22)
障害者総合支援センター	草加市栄町二丁目 1 番 3 2 号 ストーク草加式番館 1 階	平成 2 2 年	—	8 (9)
生活介護事業所そよかぜの森	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	平成 2 9 年	4 0	14 (13)
※ 職員数については、令和 5 年 3 月 31 日現在				82
※ () 内は、契約職員及び臨時職員の数で外書き			合 計	(104)

事 務 局

I 概要

事務局は、各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和4年度は、指定管理施設の主な指定申請として、対象の4施設のうち、つばさの森及びきくの里においては令和4年度をもって廃止する事業や令和5年度から開始する新規事業について、事業内容等を草加市と協議しながら、当該施設と協力し、申請事務等を進めました。公募による指定管理者選定となったふれあいの里については、申請関連書類及びプレゼンテーション等の審査の結果、令和5年度から新たな5カ年の指定を受けることができました。また、ひまわりの郷については随意指定により申請書類を提出し、令和5年度から5カ年の指定を受けました。

また、事業団の施設概要や活動内容などを草加市民や関係機関に広く周知するため広報誌の発行回数を年3回に増やすなど改善に向け取り組みました。

さらに、事業団理事長の交代に伴う関係機関への届出等の諸手続について、事務局が主導となり、適正に事務を遂行しました。

1 評議員会、理事会及び監査

事業計画、予算、事業報告及び決算のほか、法人運営上重要な事項については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じた上で、評議員会及び理事会を、感染状況に応じた書面による決議の実施も含め、適宜開催し、審議の上、原案どおり議決を得ました。

また、業務執行の状況及び財産の状況（会計経理）の適正を期するため、感染症対策に留意して監事監査を実施しました。

2 効率的、効果的な経営の推進

経営会議を定期的で開催し、各施設の事業において、目標を定めた事業の推進を図り、適正かつ効率的な事業の運営に努めるとともに、各施設の感染状況や感染対策を各施設で情報共有し、感染症対策に努めました。

また、人事評価制度を活用し、各施設との綿密な連携の下、職員の資質やモチベーションの向上を図りました。

3 職員研修

事業団の即戦力としての活躍が期待される新人職員を対象に研修を実施するとともに、他機関が開催する外部研修などをオンライン形式で受講するなど積極的に取り入れ、また、草加市社会福祉ネットワーク主催の研修を企画し参加するなど職員の意識改革と資質の向上に努めるとともに、利用者が安心して利用できる施設サービスの充実・向上に努めました。

II 評議員、役員及び評議員選任・解任委員一覧表

1 評議員

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
評議員	齋藤幸子	ボランティア草加連絡協議会
評議員	今野禎雄	草加市健康福祉部（副部長）
評議員	清田幸子	草加市民生委員・児童委員協議会
評議員	猪俣裕嗣	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	森永功	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	矢作浩之	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 そうか光生園
評議員	浅古臣男	学識経験者（事業団OB）
評議員	佐々木一男	草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森保護者会
評議員	大矢浩子	草加地区保護司会
評議員	岡田卓也	公益社団法人草加市シルバー人材センター

任期：令和3年(2021年)6月21日から令和7年(2025年)定時評議員会まで

2 役員（理事及び監事）

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
理事長	瀬戸百合子	草加市長
副理事長	坂田幸夫	草加市健康福祉部（部長）
常務理事	下国季樹	学識経験者
理事	浅見宗久	学識経験者
理事	関島和子	草加市身体障害者福祉協会
理事	秋山恵美子	社会福祉法人光陽会
理事	深井薫	施設長
理事	丹下和子	草加市民生委員・児童委員協議会
理事	山崎修	草加商工会議所
監事	武田康成	税理士
監事	青木喬	地域福祉関係者

任期：令和3年(2022年)6月21日から令和5年(2023年)定時評議員会まで

3 評議員選任・解任委員 (令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	選任基準
委員長	青木 喬	監事
委員	金子 敏和	外部委員
委員	竹城 満博	事務局員

任期：令和3年(2021年)6月21日から令和5年(2023年)定時評議員会まで

III 評議員会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり評議員会を開催しました。

1 令和4年度定時評議員会

- (1) 日時 令和4年6月23日(木) 午前10時00分
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員9人、監事1人
- (4) 議決事項
 - ① (報告) 令和3年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和3年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算(監事監査報告を含む)

2 令和4年度第2回評議員会

- (1) 日時 令和4年11月7日(月)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 評議員10人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事の選任につき評議員会の議決を求めることについて

3 令和4年度第3回評議員会

- (1) 日時 令和4年12月20日(火) 午後2時45分
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員8人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

4 令和4年度第4回評議員会

- (1) 日 時 令和5年2月13日(月)午後4時00分
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員9人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定款の一部を改正する定款の制定について

IV 理事会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり理事会を開催しました。

1 令和4年度第1回理事会

- (1) 日 時 令和4年5月24日(火)午前10時30分
- (2) 場 所 草加市高年者福祉センターふれあいの里
- (3) 出席者 理事7人、監事1人
- (4) 議決事項
 - ① 令和3年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和3年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団給与規程の一部を改正する規程の制定について
 - ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定時評議員会の招集について

2 令和4年度第2回理事会

- (1) 日 時 令和4年11月4日(金)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事選任候補者の推薦について
 - ② 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会の招集について

3 令和4年度第3回理事会

- (1) 日 時 令和4年11月7日(月)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項

- ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事長の選定について

4 令和4年度第4回理事会

- (1) 日 時 令和4年12月20日(火)午後2時00分
(2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
(3) 出席者 理事9人、監事2人
(4) 議決事項
- ① 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業資金収支補正予算(第1号)
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団第3回評議員会の招集について

5 令和4年度第5回理事会

- (1) 日 時 令和5年2月10日(金)
(2) 決議方法 書面による決議
(3) 決議者 理事9人、監事2人
(4) 議決事項
- ① 草加市障害福祉サービス事業所つばさの森の就労移行支援事業の廃止について
 - ② 草加市障害福祉サービス事業所つばさの森の生活介護事業の開始について
 - ③ 草加市在宅福祉センターきくの里の高年者デイサービスセンター事業の廃止について
 - ④ 草加市在宅福祉センターきくの里の新規事業の開始について
 - ⑤ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定款の一部を改正する定款の制定について
 - ⑥ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑦ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団経理規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑧ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団第4回評議員会の招集について

6 令和4年度第6回理事会

(1) 日 時 令和5年3月27日(月)午後3時55分

(2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森

(3) 出席者 理事9人、監事1人

(4) 議決事項

- ① 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業資金収支補正予算(第2号)
- ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団中期経営基本計画
- ③ 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業計画
- ④ 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業資金収支予算
- ⑤ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団役員等のために締結される保険契約内容の承認について
- ⑥ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
- ⑦ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員・選任解任委員会の招集について

V 評議員選任・解任委員会

評議員を選任するため、次のとおり評議員選任・解任委員会を開催しました。

1 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会

(1) 日 時 令和5年3月27日(月)午後4時55分

(2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森

(3) 出席者 委員3人

(4) 議決事項

- ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員の選任につき議決を求めることについて

草加市立養護老人ホーム松楽苑

I 養護老人ホーム事業

1 生活援助

入所者一人ひとりのニーズや心身の状況等により処遇計画を立案し、その計画に基づき、介護保険サービス等の外部サービスを利用するなど、安心・安全に配慮した日常生活を営むことができるよう適切な支援を行いました。

季節ごとの行事を通じて、四季を感じることで心身の安定を図りました。また、新たに歌の教室とストレッチ体操の講師を招き、月1回程度実施しました。レクリエーションやクラブ活動を充実させ、入所者間のコミュニケーションが図れるよう支援を行いました。

2 相談・助言

入所者の生活における相談や助言、金銭管理、各種申請代行等を行い、安心して生活が送れるよう支援を行いました。

3 健康管理

1日に2回の体操やストレッチを実施した他、外部から講師を招き、3B体操を実施することにより、体力・健康の維持を図りました。また、口腔ケアを促すことで健康の増進に繋がりました。

嘱託医による毎月の定期健診や年2回の健康診断（うち1回肺がん検診含む）、必要に応じて予防接種を実施しました。看護職員による健康相談・血圧測定・体重測定・健康チェック並びに他職種との連携から、入所者の体調の変化、さらに精神的な変化に対する早期対応を行うとともに、専門的な関係機関に繋げ、疾病の早期発見、早期治療に努めました。

4 衛生管理

食堂や施設内共有部分の消毒を1日2回以上実施し、定期的な換気、加湿（冬季）を行い、新型コロナウイルス感染症等の防止に努めました。また、入所者及び職員に対し、手洗いやうがい、手指消毒など基本的な感染対策を励行し、感染症や食中毒の予防に努めました。

万一、感染症や食中毒が発生した場合には、松楽苑感染症マニュアルに沿って、嘱託医や保健所と協力して感染拡大を防げるよう、対策を講じました。

5 食事

食事での楽しみを最大限に感じていただけるように、季節の食材を取り入れた献立や、選択メニューなど幅広い料理の提供を心がけました。

また、栄養士による栄養管理の下、食材の味と香りを引き出し、素材の味を活かした、色彩豊かな食事の提供を心がけました。

さらに、入所者の意見や嗜好の聞き取りを参考に、食事内容の充実を図るとともに、入所者の身体状況に応じ、食事形態や食事制限のある入所者でも楽しむことができる食事の提供など、個別対応を随時行いました。

6 一時入所

社会適応が困難な高齢者の一時的な宿泊を受け入れ、生活習慣の指導・支援・栄養管理を行うとともに、健康状態を把握しました。また、一時入所が終了しても安心して地域で生活が送れるように、関係機関と協力を図りました。

7 家族・身元引受人及び地域との交流

入所者の日々の様子や体調など、家族や身元引受人への連絡・報告を適宜実施し、家族との交流の機会を確保しました。また、年2回発行する「苑だより」において入所者の生活の様子や活動内容をお知らせしました。地域の方々にも日頃の様子を広く理解してもらえるよう、行事の内容や日々の生活などの情報を、SNSなどを利用してお知らせしました。

8 事業継続計画（BCP）及び避難計画

大規模な地震や水害、感染症などにより、事業の運営が危機的状況下に置かれた場合でも、事業の運営が困難にならないように、事業継続計画の作成に当たって、研修等に参加し、情報の収集を行いました。また、避難計画の見直しを適宜行い、各職員への周知徹底を図りました。

II 訪問介護事業

1 身体介護

身体機能向上を目的として、より安全で安心した生活が継続できるように、食事、排泄、入浴、口腔ケアなどの日常生活動作全般における介助や見守りを行いました。また、細やかなコミュニケーションを心掛け、利用者の心の充実と意欲向上に努めました。

2 家事援助

居室の清掃、衣類及びリネンの洗濯や日用品の整理等、必要に応じた日常生活の援助を行いながら、併せて生活等に関する相談・助言を行い、ご本人の希望に沿った支援に努めました。また、衛生面にも配慮したサービスの提供を行いました。

(松 楽 苑)

(1) 入・退所者の状況

(単位：人)

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
50	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	退所者	0	1	0	2	1	1	1	2	0	0	0	0	8
	在所者	31	30	30	28	27	26	25	23	23	23	23	24	

※前年度末在所者 31人 令和4年度年間利用者延べ人数 9,682人

(2) 措置機関別在所者状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

措置機関名	人数	措置機関名	人数
草加市福祉事務所	21	足立区福祉事務所	1
川口市福祉事務所	2	合計	24

(3) 年齢分布表 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

性別	年齢	61歳	66歳	71歳	76歳	81歳	86歳	91歳	96歳	合計	平均 年齢
	～	～	～	～	～	～	～	～			
		65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳		
男性		0	1	2	2	3	1	2	0	11	80.9歳
女性		0	0	2	2	7	2	0	0	13	80.8歳
合計		0	1	4	4	10	3	2	0	24	80.8歳

最少年齢=69歳 最高年齢=95歳

(4) サービスの提供状況 (特定施設入居者生活介護)

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	3	2	3	1	12
5月	3	3	2	3	1	12
6月	3	3	2	1	1	10
7月	3	3	2	1	1	10
8月	3	3	2	0	1	9
9月	2	3	2	0	1	8
10月	3	2	1	0	1	7
11月	3	2	2	0	1	8
12月	3	2	2	0	1	8
1月	3	2	1	1	1	8
2月	3	1	1	2	1	8
3月	3	1	2	2	1	9
合計	35	28	21	13	12	109

(5) 一時入所

(単位：人・日)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (延べ)
利用者数	2	0	1	1	0	0	1	2	2	2	2	1	14
利用日数	35	0	17	5	0	0	1	46	62	62	56	31	315

(6) クラブ活動

内 容	実 施 日	指 導 者	回数	構 成 員
3B体操	毎週月曜日	増村様・篠田様	34	全 員
ストレッチ体操	月1回	岩田様	10	全 員
歌の教室	月1回	河内様	9	全 員
レクリエーション	毎週水曜日	担当職員	32	全 員
ビデオ鑑賞	毎週木曜日	担当職員	24	全 員

(7) 各種行事

実 施 日	行 事 名
6月1日	開苑記念行事
7月20日	夏祭り
8月8日、18日	盆供養（迎え火・送り火）
9月22日	敬老会
9月26日	温泉事業
12月23日	クリスマス会
1月25日	新年会
2月1日	初詣
2月3日	節分
3月8日	説法
3月22日	花見昼食会
5月（2回）・6月（3回） 10月（2回）・3月（2回）	食事会
6月（1回）・10月（1回） 3月（1回）	買物外出
6月21日・11月9日	衣料品訪問販売
毎月実施	誕生者イベント

(8) ボランティア受入状況

(単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
習字	6日	6人
ハーモニカ慰問	4日	20人

(訪問介護事業所)

(1) サービスの実施状況

令和4年度年間利用者延べ回数 4,003回

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月利用実人数	3	3	2	3	1	12
4月訪問回数(合計)	61	145	86	127	61	480
5月利用実人数	3	3	2	3	1	12
5月訪問回数(合計)	66	138	78	94	64	440
6月利用実人数	3	3	2	1	1	10
6月訪問回数(合計)	63	136	78	40	62	379
7月利用実人数	3	3	2	1	1	10
7月訪問回数(合計)	66	136	82	41	25	350
8月利用実人数	3	3	2		1	9
8月訪問回数(合計)	57	140	79		44	320
9月利用実人数	1	3	2		1	7
9月訪問回数(合計)	35	107	67		41	250
10月利用実人数	3	2	1		1	7
10月訪問回数(合計)	57	90	40		45	232
11月利用実人数	3	2	2		1	8
11月訪問回数(合計)	54	92	67		40	253
12月利用実人数	3	2	2		1	8
12月訪問回数(合計)	60	95	111		43	309
1月利用実人数	3	2	1	1	1	8
1月訪問回数(合計)	55	104	71	44	36	310
2月利用実人数	3	1	1	2	1	8
2月訪問回数(合計)	75	33	58	107	41	314
3月利用実人数	3	1	2	2	1	9
3月訪問回数(合計)	84	31	90	118	43	366
年間利用実人数	34	28	21	13	12	108
年間訪問回数(合計)	733	1,247	907	571	545	4,003

草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森

I 就労移行支援事業

1 職場実習

新型コロナウイルスの影響により活動できる期間に制限がありましたが、事業所や企業における職場実習を実施することで、就労への意欲が高められるよう支援するとともに、職場実習受入先の企業等の確保及び開拓に努めました。

2 求職活動の支援

ハローワーク、草加市障害者就労支援センターや東部障がい者就業・生活支援センターみらいなど関係機関との連携を図り、利用者の適性や要望に応じた職場開拓に努めました。

3 職場定着支援

就労後も安定した就労が持続するよう、関係機関と連携し、本人及び就職先の支援を行いました。

4 生産活動

生産活動を進める上においては、基礎体力や作業能力の向上、持続力や集中力の向上、さらには職場における協調性を意識することが重要であることから、基本的な職場規律や社会規律が体得できるよう支援しました。

5 訓練プログラム

一般就労に必要な基礎知識を学ぶ座学やワークサンプルを活用し、就労への資質と意欲の向上に繋がるよう支援しました。

また、個々の状況に応じたプログラムを提供し、就労に向けた課題を克服できるよう支援しました。

6 施設外作業

施設外において施設とは違った環境と体制の中で作業を行うことで、就労への意欲向上に繋がるよう支援しました。

II 就労継続支援B型事業

1 生産活動

新型コロナウイルスの影響により、企業からの受注量が安定しない時期もありましたが、徐々に受注量もコロナ禍以前の状態に戻り、安定した作業提供ができるようになりました。引き続き企業からの受注作業の新規開拓、確保に努めるとともに、作業の効率化を図りました。

また、利用者が作業を習得できるように、支援体制を強化するとともに、利用者一人ひとりの能力や特性に応じて作業内容・作業環境を工夫し、働く習慣と態度を身に付けることができるよう支援しました。

2 施設外作業

施設外での作業を行い、安定した作業収入の確保を図りました。また、施設とは違

った環境と体制の中で作業を行うことで、作業意欲の向上に繋がるよう支援しました。

3 就労への移行

利用者の就労意欲を引き出し、知識及び能力が高まった方を対象として、就労への移行に向けた支援を行いました。

4 生活支援

自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援しました。

5 送迎サービス

利用者の高齢化に伴い、利用要件を設け、安心、安全に通所できるよう、そよかぜの森マイクロバスによる相乗り送迎を実施しました。

III 健康管理

毎日のラジオ体操・ウォーキングの実施や、外部から講師を招き、月に2回ずつ3B体操と空手体操を実施し、利用者の健康維持に努めました。

また、11月に健康診断を実施し、利用者の健康状態を把握するとともに、保護者へ健康診断の結果について報告し、情報共有を図りました。

新型コロナウイルス対策としては、利用者及び職員の出勤前の体温測定、手洗い、手指消毒の徹底、食堂テーブルのパーテーション設置や館内消毒を徹底することで、感染拡大防止に努めました。

IV 相談援助

利用者や家族等からの相談に対しては、個人面談や電話相談を行い、必要に応じて関係機関と連携を図りながら、迅速かつ適切に対応しました。

また、玄関前のテーブルにご意見箱を設置し、利用者や家族等から意見を募り、サービスの向上を図りました。

V 食事の提供

管理栄養士による栄養管理の下、旬の食材を取り入れた献立の提供や、利用者の疾患や身体状況に応じ、粥食、キザミ食、アレルギーや好き嫌いに至るまできめ細やかに個別対応を行いました。

また、季節に合わせた行事食、バイキング給食、毎月の誕生日給食や選択メニューを提供し、利用者が食事を楽しめる工夫をしました。

VI 地域交流

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の大規模な行事はほとんどが中止となりましたが、市内の音楽イベントに参加したり、マドレーヌ・マフィン等の自主製品の販売をするなど、感染に留意しながら少しずつ地域活動にも参加しました。また、市内の獨協大学生の協力を得て、マドレーヌのコラボ商品を発売し、大学等で販売す

ることができました。

また、コロナ禍における状況を踏まえながらも、可能な限り見学者や実習生等を受け入れ、地域に開かれた施設運営に努めました。

VII その他

就労移行支援事業については、市内における民間事業者が充足傾向にある等の理由から、公設事業所としての一定の役割を終えたとの判断の下、令和5年3月31日をもって廃止しました。

また、令和5年度開始する生活介護事業について、草加市や各関係機関と連絡調整を密に行いながら、利用者の高齢化・重度化に対応できる日中活動の場としての施設機能転換が図れるよう、遅滞ないようその準備を進めました。

(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

(1) 訓練等給付費支給市町別の利用者状況 (令和5年3月31日現在)

(単位:人)

支給市町村名	就労移行 支援事業	就労継続支援 B型事業
草 加 市	2	50
越 谷 市	0	13
八 潮 市	0	0
松 伏 町	0	1
吉 川 市	0	1
合 計	2	65

(2) 入退所の状況

①就労移行支援事業

(単位:人)

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
6	入所者	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
	退所者	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5
	在所者	6	6	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	

※就労アセスメント入所者 1名

令和4年度年間利用者延べ人数 856人

令和4年度年間利用者実人数 7人

②就労継続支援B型事業

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
74	入所者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在所者	64	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	

令和4年度年間利用者延べ人数 14,212人

令和4年度年間利用者実人数 65人

(3) 年齢別分布表（令和5年3月31日現在）

①就労移行支援事業

（単位：人）

年齢 性別	18 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	合計	平均 年齢
	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳			
男 性	2	0	0	0	0	0	2	19歳
女 性	0	0	0	0	0	0	0	0歳
合 計	2	0	0	0	0	0	2	19歳

②就労継続支援B型事業

年齢 性別	18 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	合計	平均 年齢
	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳			
男 性	0	8	9	8	15	2	42	42.3歳
女 性	0	2	7	4	7	3	23	45.6歳
合 計	0	10	16	12	22	5	65	43.5歳

※ 最少年齢 20 歳 最高年齢 70 歳

(4) 職場実習等

事 業 者 名	人数	作 業 内 容
リクルートスタッフィングクラフツ	5	紙すき作業、コーヒー豆選別等

(5) 就職先

事 業 者 名	人数	作 業 内 容
リクルートスタッフィングクラフツ	3	紙すき作業、コーヒー豆選別等

(6) 加工事業

業 者 名	作 業 品 目
(資)釜屋商店	お灸の筒の組み立て、お灸のサンプル組み立て等
(株)日本化学産業	建築用部品の加工
(株)ゴークラ	色画用紙・ケント紙の袋入れ、シール貼り等
(株)イワコー	消しゴムの組立
(株)ワタナベ	箱折り
(合)Lead Block	銀のさら 宅配用お箸セット作成
草加市上下水道部	使用済水道メーターの分解
森紙器(株)	箱折り
更新(株)	防塵マスク用ゴム紐の部品取り付け等

(株)アークス	チラシ封入、チラシ折り
(株)グローバルメディアネット	額絵封入、チラシ折り
(株)長谷川製作所	おみくじの作成
(有)公平紙巧	バリ取り
(株)パレット	缶バッチ封入・アクリル製品封入

(7) 受託事業

業者名	作業品目
SBS三愛ロジスティクス(株)	段ボール組み立て、段ボール潰し
草加市都市整備部みどり公園課	公園の清掃
草加市上下水道部	水源地の草刈り

(8) 販売事業

作業名	生産品目
印刷	名刺、年賀状、議会ニュース、チラシ、封筒等
農作業	柿、夏みかん等
製菓	各種マドレーヌ、小松菜マフィン、彩のマカローヌ等
自動販売機	自動販売機の管理

(9) 年間作業収入

(単位：円)

加工事業収入	受託事業収入	販売事業収入	収入合計
5,276,412	6,460,596	10,660,935	22,397,943

(10) 工賃支給額

(単位：円)

支給日	就労移行支援事業			就労継続支援B型事業		
	支給者数	支給額	平均工賃	支給者数	支給額	平均工賃
4月25日	2人	18,400	9,200	62人	1,047,600	16,897
5月25日	6人	58,300	9,717	62人	1,252,100	20,195
6月24日	6人	30,179	5,030	64人	847,381	13,240
7月25日	4人	30,600	7,650	65人	786,800	12,105
8月25日	4人	20,400	5,100	65人	510,200	7,849
9月22日	4人	40,100	10,025	65人	1,031,500	15,869
10月25日	4人	60,800	15,200	65人	1,526,700	23,488
11月25日	4人	29,300	7,325	65人	872,100	13,417
12月24日	4人	47,744	11,936	65人	1,081,994	16,646
1月25日	4人	49,000	12,250	65人	1,302,700	20,042
2月24日	2人	17,000	8,500	64人	930,100	14,533
3月24日	2人	26,900	13,450	64人	1,356,100	21,190
年間	46人	428,723	9,320	771人	12,545,275	16,271

(11) 年間行事

実 施 日	行 事 名
4月 1日	入所式
6月14日	防災訓練
6月30日	バイキング給食
10月14日	お楽しみ会～縁日を楽しもう～
11月22日	健康診断
11月29日	そば商組合交流会
12月16日	お楽しみ会（クリスマス会）
1月24日	防災訓練
2月14日	バイキング給食
3月17日	お楽しみ会
3月31日	お花見弁当

(12) クラブ活動

クラブ名	内 容
鑑賞	利用者の好みに合わせたDVD鑑賞を行いました。
ダンス	音楽に合わせて皆でダンスをしました。10月のお楽しみ会～縁日を楽しもう～や、いきいきフェスタのイベントに出場するなど、ダンス練習の成果を発表しました。
芸術	お絵描や塗り絵やゲーム（オセロ・将棋・ブロック・ジエンガ・カードゲーム）音楽鑑賞など、各自の興味がある事を行いました。季節に合わせた飾りやキーホルダーなどの制作、貼り絵を行い、玄関前の壁に展示しました。
カラオケ 合唱	各自が歌を選び、カラオケを楽しみました。また、様々な歌の合唱も行いました。

(13) ボランティア受入状況

作 業 内 容	活動日数	延べ人数
作業支援、つばさの森まつりなど	0	0

(14) 特別支援学校など実習生受入状況

学 校 名	人 数
草加かがやき特別支援学校	2
社会福祉士養成課程実習	6
高等学校初任者研修民間企業等体験研修	3
介護等体験	1

草加市総合福祉センター であいの森

I 高年者福祉センター事業

1 利用者ニーズに沿った事業の展開

新型コロナウイルス感染防止に努めながら各種講座を開催しました。「気軽に集える場」として「すまいる広場～介護予防～」 「であいの森かけはしサロン」では、利用者の意見を取り入れながら内容の拡充を図りました。特に、かけはしサロンでは、Wi-Fi を使用し、動画による体操を実施しました。

また、「ボッチャを体験してみよう」を定期開催し、高年者にボッチャの楽しさを広めるとともに、スマホ教室を開催するなど利用者ニーズに沿った事業を展開しました。

更に、「であいの森まつり」を3年ぶりに開催し、開所30周年を利用者と祝うとともに、サークル発表会を行いました。

2 生活・健康等の各種相談の実施

心身の健康維持や疾病予防のため、専門職員が適切な相談、援助を行うことで高年者の生活を支援しました。また、新型コロナワクチン予約の支援を実施しました。

3 すこやかクラブやサークル等の団体活動の支援

すこやかクラブやサークルの代表者等との連絡を密にし、円滑かつ自主的な活動が行えるよう支援しました。

また、すこやかクラブについては、市や社会福祉協議会と連携し、各サークルについては自助・共助できる体制づくりを促進しました。

4 施設利用の促進

特色のある催し物等の開催や施設の周知に努めるとともに、より多くの方々が施設を利用できるよう、その利便性を図るため、市内主要駅周辺を基本のルートとしたマイクロバスによる送迎サービスを実施しました。

5 入浴サービス

高年者に対し、安全と衛生に配慮した入浴サービスを提供しました。

6 貸館事業の促進

市民に対し、施設・設備の利用を広く宣伝し、貸館事業の利用促進に努めました。

II 身体障害者福祉センター事業

1 更生相談

障がい者及びその家族等に対し、関係機関との連携の下、生活や就業等に関わる各種の相談に応じました。

2 機能訓練

医師の指示に基づき、専門職等が身体機能の維持・回復を目的に訓練を実施し、安全な日常生活動作の習得と社会参加の促進を図りました。

3 各種教養講座等

ボッチャ講座では、身体に障がいのある方及びその家族等を対象とし、軽度から重度の障がいのある方まで、全ての方が参加し楽しむことができる障がい者スポーツとして実施しました。

草加市内においての大会や交流会などに積極的に参加し、同スポーツの普及と発展のため活動しました。

今年度は利用者の安全に配慮しながら、料理教室を開催しました。

4 送迎サービス

機能訓練利用者に対し、リフト付きバスにて自宅まで送迎を行いました。

また、土曜日、日曜日に講座参加等で、施設を利用する身体に障がいのある方に対して、施設最寄りの駅までの送迎を予約制にて実施しました。

5 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止のため、感染症対策の見直しを行い、手洗い・手指消毒、マスクの着用に加え、送迎バス乗車前の検温・手指消毒、私物等（杖・車椅子）の消毒等、感染症対策を強化してサービスの提供に努めました。

Ⅲ 地域活動支援センター事業

1 基本サービス

(1) 創作的活動

創作的活動を通して、個々の創造力や感性を高めるとともに、協働して取り組む中で、利用者同士が互いの障がいを理解しながら、集団生活における社会性を養いました。

また、園芸・創作等の活動を通して、自然や季節を感じることにより、心の豊かさを得られるよう努めました。

(2) 機能訓練

個々の生活実践プログラムの実施により、身体機能・生活能力の維持・向上を図ると共に、日常生活の充実に繋がるよう努めました。

(3) 介護方法の指導

利用者及び家族の介護に関する相談等を受ける中で、介護方法の指導助言を行いました。

(4) 社会適応訓練

個別支援計画書に基づき、日常生活、社会生活における個々の課題を確認し、家族や関係機関等と協力しながら、個別訓練を実施しました。

(5) 更生相談

利用者及び家族等から生活や就業等に関する様々な相談に応じるとともに、必要に応じ、関係機関との連絡・調整を図りました。

(6) スポーツ・レクリエーション

高年者等のボランティアの協力を得て、安全かつ楽しくスポーツ・レクリエーションができる機会を提供することにより、体力の維持・向上を図りました。

(7) 健康指導

バイタルチェックを行うことにより、利用者の心身の健康状態を把握し、日中活動が安全に行えるよう努めるとともに、随時、健康相談を実施しました。

(8) 医療的サービス

利用者の心身の状況に応じ、看護職員による医療的な処置を行いました。

2 食事サービス

栄養士による栄養管理の下、利用者の体調や身体状況等に応じた給食やおやつを提供しました。

また、旬を感じさせる食材や行事食等を提供することにより、食を通して季節感を味わえるよう努めました。

3 送迎サービス

自主通所の難しい市内在住の利用者に対し、リフト付きバスによる送迎サービスを行いました。

4 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方を対象に、身体の衛生保持と安全な入浴方法の習得を目的とした入浴サービスを行いました。

5 特別プログラム

新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら外出活動等の実施をしました。

また、感染対策をとりながらゲストを迎え外部の方との交流の機会を増やし、余暇活動の充実を図りました。

さらに、昼食時はリクエスト給食を取り入れたり、ファミリーレストランの宅配を依頼したり各店舗のテイクアウトを利用したりと、可能な範囲で食事を楽しめるプログラムを実施しました。

6 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止のため、感染症対策の見直しを行い毎日のバイタルチェック、手洗い・手指消毒、マスクの着用に加え、送迎バス乗車前の検温・手指消毒、食事やおやつの提供時に卓上パーテーションを使用する等の対策強化を行いました。

また、高年者福祉センターと連携をしつつ、新型コロナワクチン予約の支援を行いました。

IV 軽食喫茶事業

1 軽食喫茶

新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、栄養バランスの取れた手作りの食事を低価格で提供することで、利用者の健康の増進及び満足度の向上に努めました。

2 外部販売

地域のイベントの中止等により、模擬店の出店はありませんでした。

3 衛生管理

職員の細菌検査等の実施や手洗い等の励行により、衛生管理の徹底を図りました。

(高年者福祉センター事業)

(1) 令和4年度年間利用者延べ人数 80,318人

(2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9)の合計値

(2) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	59	107	85	106	54	107		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	106	104	95	91	84	116	1,114	574

(3) 教養講座の開催

開催期間	講座名	受講者数	回数	出席延人数
		高年者		高年者
4月28日～3月22日	ボッチャを体験してみよう	12	8	94
4月9日～7月25日	フラダンス教室	10	6	43
4月11日～3月8日	かけはしサロン	20	6	95
5月18日～7月20日	絵手紙教室	12	6	54
5月19日～7月21日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	96
5月25日～1月18日	苔玉作り	9	2	15
6月7日～8月16日	Let's!!リズム体操	20	6	90
8月10日～10月26日	ハンドベルを奏でよう	16	6	89
9月1日～12月1日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	106
9月8日～11月24日	水彩画を楽しく描こう	6	6	32
9月9日～11月25日	季節を感じよう俳句講座	12	6	65
9月12日～12月5日	みんなで踊ろうエアロビダンス	12	8	94
10月17日～11月4日	手芸講座～軍手で作ろう～卵～	10	2	20
11月1日～1月31日	体幹を鍛えようヨガ教室	8	6	37
12月9日～2月24日	Let's!!リズム体操	20	6	90
1月19日～3月16日	折り紙を楽しもう	12	3	28
2月8日～3月10日	たのしく分かるスマホ教室	10	2	17
4月13日～3月23日	すまいる広場	20	48	632
		合計	139	1,697

(4) すこやかクラブの利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	19	16	20	37	13	14		
利用者数	194	219	242	157	130	152		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
団体数	22	14	19	11	19	16	220	29
利用者数	240	226	185	121	189	196	2,251	369

(5) 高齢者の送迎サービスの状況 (一般) (単位：人)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
午前便	812	821	875	761	736	833		
午後便	370	399	438	357	327	364		
計	1,182	1,220	1,313	1,118	1,063	1,197		
区分\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
午前便	988	815	823	829	934	959	10,186	1,963
午後便	440	370	379	353	439	448	4,684	1,107
計	1,428	1,185	1,202	1,182	1,373	1,407	14,870	3,070

(6) 浴室利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	1,568	1,556	1,566	1,485	1,467	1,528		
女	1,052	1,038	1,036	953	975	1,024		
計	2,620	2,594	2,602	2,438	2,442	2,552		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男	1,704	1,743	1,571	1,642	1,755	1,831	19,416	6,344
女	1,171	1,150	1,020	1,141	1,205	1,260	13,025	3,766
計	2,875	2,893	2,591	2,783	2,960	3,091	32,441	10,110

(7) サークルの活動状況（令和5年3月31日現在）※活動実績のあるサークルのみ表示

サークル名	会費	活動回数	サークル名	会費	活動回数
青柳クラブ	9	43	太極拳サークル	21	35
アカリダンスサークル	14	48	ダンス レモン	13	41
絵手紙工房	7	13	稚心会	14	24
かがやき	12	26	恙なしの会	10	17
カサブランカ	28	45	どれみサークル	3	11
華道 千草会	6	29	にこにこ体操クラブ	30	49
ギターサークル であい	7	44	ねんどの会	9	42
杵柄会 あじさいクラブ	10	34	フレンドリーダンスサークル	15	48
杵柄会 三味線クラブ	6	24	まあがれっと	2	71
杵柄会 日本舞踊クラブ	7	39	マイ スマイル	5	8
杵柄会 民謡クラブ	14	22	マリンバ・アンサンブル'99	3	58
杵柄会 カラオケクラブ	6	24	みつぼしクラブ	14	46
琴 こでまり	4	26	メープル英会話クラブ	12	43
埼玉県スポーツウエル ネス吹矢協会	14	40	釉友くらぶ	7	41
サクラクラブ	5	5	友和会	9	20
桜草サークル	5	14	ヨーガめぐみ	6	4
視覚障がい者 虹の会	8	23	よさこい彩女	16	39
シルバーコーラス	18	17	楽々会	6	12
ストレッチ体操 空	39	39	ローズダンス	4	11
草加ハナレイ・フラサークル	6	27	わかばの会	12	24
草加ハーモニカ同好会	5	28			

(8) 研修室等の利用状況

() …団体数 (単位:人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研修室1・2	(26) 300	(27) 324	(31) 344	(30) 294	(19) 195	(25) 278	
研修室3・4	(23) 296	(21) 253	(21) 355	(32) 437	(15) 138	(26) 322	
茶・華道室	(5) 23	(12) 58	(6) 25	(6) 30	(15) 54	(20) 116	
教養文化室	(59) 808	(59) 712	(58) 763	(55) 862	(47) 463	(58) 838	
工 房 (陶・和紙)	(9) 124	(8) 104	(9) 128	(8) 108	(5) 66	(9) 138	
その他 (和紙)	(12) 91	(12) 94	(16) 196	(13) 148	(10) 93	(19) 156	
開放施設	(0) 1,788	(0) 2,013	(0) 1,999	(0) 1,920	(0) 1,623	(0) 1,955	
合 計	(134) 3,430	(139) 3,558	(141) 3,810	(144) 3,799	(111) 2,632	(157) 3,803	
月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数
研修室1・2	(25) 285	(24) 312	(26) 278	(25) 261	(27) 305	(32) 363	(317) 3,539
研修室3・4	(26) 353	(26) 393	(11) 176	(22) 345	(22) 289	(25) 317	(270) 3,674
茶・華道室	(17) 96	(16) 117	(14) 118	(18) 83	(23) 137	(27) 165	(179) 1,022
教養文化室	(62) 700	(55) 721	(48) 581	(56) 721	(57) 793	(61) 757	(675) 8,719
工 房 (陶・和紙)	(8) 114	(9) 130	(5) 62	(3) 42	(9) 120	(9) 116	(91) 1,252
その他 (和紙)	(23) 239	(19) 262	(12) 111	(10) 92	(11) 92	(13) 98	(170) 1,672
開放施設	(0) 2,004	(0) 1,866	(0) 1,812	(0) 1,902	(0) 1,904	(0) 2,120	(0) 22,906
合 計	(161) 3,791	(149) 3,801	(116) 3,138	(134) 3,446	(149) 3,640	(167) 3,936	(1,702) 42,784

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	0	0	0	0	0	3	0	18	0	8	1	1	31

(身体障害者福祉センター事業)

- (1) 令和4年度年間利用者延べ人数 410人
 (2) + (5) + (6) の合計値

- (2) 機能回復訓練利用状況 (延べ人数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
区分	日数	8	9	9	8	9	9
利用者数	男性	5	14	12	14	12	7
	女性	4	3	5	4	4	5
	合計	9	17	17	18	16	12
1日平均利用者数		1.1	1.8	1.8	2.2	1.7	1.3
健康確認及び指導		9	17	17	18	16	12
評価		2	1	3	2	0	0
診察		2	0	2	3	0	1
介護方法の指導		2	0	2	3	0	1
更生相談		2	1	2	3	0	1
送迎	往路	7	16	17	16	14	11
	復路	7	16	17	16	14	11

月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分	日数	8	9	8	8	8	9	102
利用者数	男性	12	14	12	15	14	17	148
	女性	0	0	0	0	0	0	25
	合計	12	14	12	15	14	17	173
1日平均利用者数		1.5	1.5	1.5	1.8	1.7	1.8	1.6
健康確認及び指導		12	14	12	15	14	17	173
評価		1	0	1	2	3	3	18
診察		2	0	2	2	1	2	17
介護方法の指導		2	0	2	2	1	2	17
更生相談		2	0	2	2	1	2	18
送迎	往路	12	14	12	15	14	17	165
	復路	12	14	12	15	14	17	165

(3) 機能回復訓練登録者年齢別状況

年齢 区分	18歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	総計	平均年齢
	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳		
男	0	1	1	4	0	0	6	53歳
女	0	0	0	0	1	0	1	65歳
合計	0	1	1	4	1	0	7	59歳

(4) 嘱託医(整形外科)評価・診察状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
人	男性	4	0	3	5	0	1		
	女性	0	1	2	0	0	0		
数	合計	4	1	5	5	0	1		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
人	男性	3	0	3	4	3	2	28	
	女性	0	0	0	0	1	5	9	
数	合計	3	0	3	4	4	7	37	

(5) 送迎サービス(シャトルバス)の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
往路	4	4	4	3	3	3		
復路	4	4	5	5	3	1		
計	8	8	9	8	6	4		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
往路	4	4	4	5	7	5	50	
復路	4	6	4	5	7	5	53	
計	8	10	8	10	14	10	103	

(6) 各種教養・心身向上講座

開催期間	講座名	受講者数	回数	出席延べ人数
4月～3月	「ボッチャ教室」 ※毎月1回開催 (新型コロナウイルスの状況により時間短縮あり)	15	12	126
12月	ブッシュドノエルを作ろう	8	1	8
	合計		13	134

(地域活動支援センター事業)

(1) 営業日数及び利用者数の月別状況 令和4年度年間利用者延べ人数 4,488人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
営業日数		21	22	22	21	23	22	23	23	
月間利用者数	実人数	384	394	387	346	342	375	386	406	
	延べ人数	504	554	554	554	554	554	586	590	
一日平均利用者数		18.2	17.9	17.5	16.4	14.8	17.0	16.7	17.6	
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	356	363	363	324	287	316	337	375
		復路	351	362	360	323	286	317	339	374
		計	707	725	723	647	573	633	676	749
	入浴サービス	34	28	32	32	32	34	51	56	
	給食サービス	343	384	377	320	306	333	362	394	
		12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度		
営業日数		20	20	20	23	260	21.6	255		
月間利用者数	実人数	355	366	343	404	4,488		474		
	延べ人数	578	582	563	559	6,732	561.0	4,444		
一日平均利用者数		17.7	18.3	17.1	17.5		17.2	17.4		
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	331	339	318	376	4,085	340.4	4,016	
		復路	328	343	315	377	4,075	339.5	4,006	
		計	659	682	633	753	8,160	680.0	8,022	
	入浴サービス	46	48	40	52	485	40.4	436		
	給食サービス	346	358	335	384	4,242	353.5	4,169		

※上記数字は在宅支援を含む実績です。

(2) 在宅支援者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
月間利用者数	実人数	2	2	2	2	7	8	5
	延べ人数	8	9	4	6	35	42	24
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月間利用者数	実人数	3	2	2	2	2	39	3.2
	延べ人数	11	8	7	8	8	170	14.1

(3) 契約者状況 (全 47 名)

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

区分 年齢	区分なし			区分 1			区分 2			区分 3		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
29 歳～38 歳	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 歳～48 歳	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49 歳～58 歳	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	2
59 歳～65 歳	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	6	7	1	0	0	0	0	2	3	4	1	3
前年度合計	5	4	0	0	0	0	1	3	6	5	3	1

区分 年齢	区分 4			区分 5			区分 6		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0
29 歳～38 歳	0	2	0	1	0	0	0	0	0
39 歳～48 歳	0	2	1	2	1	0	2	1	0
49 歳～58 歳	0	1	0	0	2	0	0	0	0
59 歳～65 歳	1	0	0	2	1	0	0	0	0
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	5	1	5	4	0	2	2	0
前年度合計	0	5	0	4	6	0	1	2	1

(4) 新規利用者・利用終了者

新規相談者	男		女		終了者	男		女	
	未契約数	契約数 (新規利用)	合計			辞退 (入所・他施設移行等)	死亡	65 歳到達	合計
	10	2	12	10	4	0	0	0	5

(5)年間実施行事

実施期間	活動名	内容・備考
4月1日～7日	オリエンテーション	
5月～3月(計30回)	スポーツレク	バドミントン・卓球・テニス
4月21日～27日	デリバリー昼食	ガストの宅配希望者が注文
4月18日～22日 2月15日～21日	曜日対抗レク	直線玉入れ 春先取りタケノコ取りゲーム
5月16日・17日 9月22日・23日	プランター園芸	プランターに植物の種子や苗を植える
8月3・9・19・25 29日	リクエスト給食	利用者のリクエストの多かった昼食メニューを提供
6月27日・28日 7月4・6・8・20・21 25・29日	レイクタウン外出	レイクタウンでの買い物・食事の希望がある利用者と一緒に外出
7月1日～7月7日 2月13日～17日	七夕パフェ バレンタインパフェ	おやつにてパフェの提供
7月11日～15日	夏祭り	各曜日実施。 輪投げ・射的・ヨーヨー釣り・スーパーボール、金魚すくい ※景品あり
5月23日～27日 (全5回) 8月1日～5日 (全5回) 11月24日～30日 (全5回) 1月25日～31日 (全10回)	持ち帰り創作・園芸	① カエルの根付作り ② 風鈴の絵付け ③ 令和5年カレンダー作り ④ 造花を使用したフラワーポット作り
10月20日～26日	散歩・おやつ	草加公園を散歩して休憩しながらおやつを食べる
6月30日 8月23日 9月5日 10月28日 3月22日	外部ゲスト	大塚富美子様(ボイストレーニング) YYマジック様(マジック) 田中立司様(ギター演奏) 福士夏子様(和太鼓) じっきい様(大道芸人)
12月19日・21日 22日	クリスマス会	・クリスマススペシャルレク ・職員による出し物(ハンドベル) ・おやつにケーキ・ポップコーン ジュースを提供
1月9日～13日 (全5回)	書初め	書初め・書道展開催
3月23日～29日 (全5回)	デコレーションおやつ	個々人用におやつキットを用意してオリジナルおやつを作る

5月9・30日6月13日 7月11日 9月13・27日10月4・ 18日 1月17・31日2月7・ 14・28日3月7日	グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理について ・生活リズムについて ・服装について
---	---------	--

(5) ボランティア受入状況

活 動 内 容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア スポーツボランティア 演芸ボランティア	116	116

(軽食喫茶事業)

(1) レストラン利用者状況

令和4年度年間利用者延べ人数 5,808人

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	383	539	464	572	563	489		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計
利用者数	430	476	443	406	447	596	5,808	1,265

草加市在宅福祉センター きくの里

I 高年者デイサービス事業

1 健康確認

利用者の健康状態を把握するため、血圧、脈拍、体温等の測定を行い、必要に応じて適切な助言を行いました。

新型コロナウイルス感染症に留意し、ワクチン接種状況や同居家族の健康状態も確認し感染拡大防止に努めました。また濃厚接触者等に該当し自宅待機となった利用者には、電話にて健康観察を実施すると共に感染症の対応について適切な助言を行いました。

2 生活相談

利用者及びその家族等から、デイサービスに関する相談や介護に関する相談を受け、適切な助言等を行いました。

事業終了にあたり施設移行調査を実施し、関係者への情報提供や適切な助言等を行いました。

3 入浴サービスの提供

家庭での入浴が困難な利用者に対し、特別浴槽や一般浴槽を使用し、利用者の身体状況に合わせた入浴サービスの提供を行いました。

新型コロナウイルス感染予防策を講じ、常時の換気や入室人数の制限を行い、安全に入浴できるよう努めました。

4 送迎サービス

リフト付きバス等でご自宅まで安全な送迎サービスを行いました。

5 食事サービス

利用者の健康に配慮し、栄養バランスの取れた食事サービスの提供を行いました。

各席にパーテーションを配置し、黙食の推奨を行いました。食前に手指のアルコール消毒を実施するなど、感染予防に努めました。

6 機能訓練

身体機能の維持・向上のため、軽体操、四肢運動、レクリエーション等や、認知症予防のための脳トレ等を提供し、楽しみながらできる運動や認知能力のトレーニングを行いました。

7 口腔ケア

口腔機能の維持・向上のため、口腔ケア体操及び歯科衛生士による口腔チェックを行い、必要に応じた口腔ケア指導を行いました。また、指導内容は連絡帳にて利用者及びその家族へ情報提供し、日々の口腔ケア時も適切な助言、介助を行いました。

8 介護サービス

要介護者の状況に合わせた通所介護計画を作成し、その計画に基づいたサービスの提供を行い、自宅にこもりがちな高齢者に社会参加の場を提供するとともに、家族の介護負担軽減に努めました。

9 介護予防・生活支援サービス事業

要支援の認定及び事業対象者の判定を受けた利用者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、通所介護予防計画を作成し、その計画に基づいたサービスの提供を行いました。

また、運動器の機能向上実施計画を作成し、その計画に基づいたサービスの提供を行いました。個別目標に合わせた運動プログラムを実施し、3カ月に一度運動機能の測定と評価を実施しました。

10 その他

連絡帳を通して、施設と利用者及び利用者家族間の情報交換を行うことにより、利用者の状況を把握することで、利用者一人ひとりに合ったサービスの提供ができるよう努めました。

高齢者デイサービス事業の終了にあたり、既存の利用者へのサービスの提供を維持しながら、新たな施設への移行が円滑に実施できるよう施設移行調査を実施し、関係機関等との連絡調整を密に行いました。また、移行先等への情報共有として、個別情報提供書を作成し、途切れのない継続した支援が受けられるよう取り組みました。

II 居宅介護支援事業

1 居宅介護支援

(1) 利用者からの依頼により、在宅で日常生活を営むために必要な介護保険の居宅サービス等を適切に利用することができるよう、利用者や家族の意向を確認し、特定のサービス事業所に偏ることのないよう、公正・中立な立場で居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。

(2) 居宅サービス計画に基づき、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス等が提供されるよう、サービス提供事業者やその他関係者との定期的な連絡調整を行い、必要に応じて担当者会議を開催しました。

(3) 利用者が介護保険施設等への入所を要する場合には、介護保険施設等の情報提供その他の便宜を図りました。

(4) 居宅サービス計画の作成後、利用者宅への訪問や関係機関との連絡を継続的に行うことにより、利用者の状態やサービスの実施状況を確認、評価をして解決すべき課題の把握を行い、必要に応じて、居宅サービス計画の変更、事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。

2 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止対策として、職員はマスクの着用、手指消毒、日々の体温計測等をして体調管理をし、併せて、訪問時は利用者にはマスクの着用及び体温計測をお願いしました。

また、事務所においてはテーブルへのパーテーションの設置等を行い、感染防止に努めました。

3 その他

(1) 市区町村から要介護認定申請に係る調査を委託された場合、介護支援専門員が

- 介護認定調査員として調査業務を行いました。
- (2) 居宅介護支援に関わる市区町村への申請手続を代行しました。
 - (3) 介護保険の対象となる住宅改修や福祉用具購入等に関わる理由書等の作成の支援を行いました。
 - (4) 災害時の対応について、所内全体で、緊急時の確認者リスト作成方法、医療依存度の高い方の対応方法等の確認を行い、情報の共有を行いました。今回の計画で進めた事項については今後 BCP の作成において活用する予定です。
 - (5) きくの里デイサービスの事業終了に伴い、利用者の意向に沿って支援の切れ間を作ることなく他事業所への移行を行いました。

Ⅲ 地域包括支援センター事業

1 包括的支援事業

(1) 総合相談・支援

- ① 個々の高年者がどのような支援が必要かを的確に把握し、適切なサービスの提供、関係機関や制度の利用に繋げる等の支援を行いました。
- ② 介護サービス事業者等の関係機関や民生委員、町会、高年者の生活に関わる様々な社会資源とのネットワークづくり（地域包括支援ネットワークの構築）を行いました。
- ③ 介護についての各種相談に総合的に応じるとともに、家族介護者の支援や認知症に関する相談及び認知症予防のための普及啓発に関する事業等を行いました。
- ④ あんしん見守りネットワーク事業等、市が実施する高年者サービスについて、市から利用者に関する情報提供があった場合には、速やかに現状を把握し、利用者の見守り・支援等を行いました。

(2) 権利擁護

- ① 多くの課題を抱えていたり、援助を拒否したり、適切なサービス等に繋がる方法が見つからない等で支援困難な状況にある高年者が、地域において、安心して、尊厳のある生活を送ることができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行いました。
- ② 成年後見制度の活用、老人福祉施設等への措置の支援、高年者虐待への対応、支援困難事例への対応、消費者被害の防止に対応するため、各々の諸制度を活用し、高年者の生活や権利を守る支援を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ① 地域の高年者及びその家族の個別支援における包括的・継続的なケアを実施するために、介護サービス事業者、医療機関等の関係機関及び地域のインフォーマルサービスとの連携体制を構築し、地域における連携・協力体制の整備を行いました。
- ② 介護支援専門員に対して専門的見地からの個別指導・相談、支援困難事例等

への指導・助言を行いました。

- ③ 不足している社会資源の把握や地域課題の整理に努め、個別、または圏域における地域ケア会議を開催しました。

また、市で開催する自立支援型地域ケア会議へ出席しました。

(4) 認知症総合支援

認知症の方やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームと連携し、早期診断・早期対応ができる支援体制を整備し、認知症地域支援推進員を配置することで、認知症の方が容態に応じて必要な医療・介護等のサービスを受けられるよう、関係機関との連携体制の構築や認知症の方や家族等への相談支援を行いました。

また、地域での認知症に関する取組を推進し、市民が認知症に関する知識を深められよう講座等の開催を実施しました。

(5) 在宅医療・介護連携及び生活支援体制の整備

在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて、関係者間の連携を図る取組を実施し、地域資源の開発や関係者間の情報共有・連携を図り、ネットワーク構築と生活支援サービスの体制整備に努めました。

(6) 介護予防ケアマネジメント

要介護状態等の予防または自立した日常生活の支援を目的とし、高年者の心身の状況、その置かれている環境や状況に応じて、高年者自らの選択に基づき、適切な事業が包括的かつ効果的に実施されるよう、専門的な視点から必要な支援を行いました。

2 一般介護予防事業

地域の高年者世帯への個別訪問、関係機関との連携を通じて状況把握を行い必要に応じて介護予防にかかる活動へ繋げるよう努めました。

また、介護予防に関する講座の開催などを通じて、介護予防普及啓発事業を実施し住民主体の介護予防に係る活動が円滑に実施できるよう関係者との連携を図りました。

3 指定介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業における要支援者等の介護予防及び日常生活の支援を目的に、予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができるよう必要な支援を行いました。

4 感染症対策

- (1) 職員及び利用者への感染症の拡大を防止するため、手洗い、消毒等の防護に努めるとともに、感染された利用者への支援においては、防護対策を施しながら業務が継続できるよう取組みました。

- (2) 感染の拡大が発生した際に利用者が受ける支援及び事業が滞ることのないように、常に各関係機関等との連携を図りました。

(高齢者デイサービスセンター事業)

(1) 営業日数及び利用者数の月別状況 令和4年度年間利用者延べ人数3,118人

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		営業日数	26	26	26	26	26	27	26	26
月間利用者数	実人数	42	38	35	35	34	37	36	32	
	延べ人数	337	322	297	290	307	291	298	265	
一日平均利用者数		13.0	12.4	11.4	11.2	11.4	11.2	11.5	10.2	
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	334	316	295	286	301	287	293	261
		復路	334	314	294	286	302	287	296	259
		計	668	630	589	572	603	574	589	520
	健康確認		337	322	297	290	307	291	298	265
	入浴サービス		161	157	154	167	162	148	156	143
	給食サービス		337	322	297	290	307	291	298	265
	日常生活動作訓練		337	322	297	290	307	291	298	265
	運動器機能向上		54	55	53	53	55	53	51	49
区分		月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度月平均	
		営業日数	24	24	24	27	308	25.6	25	
月間利用者数	実人数	32	29	25	22	397	33.1	45		
	延べ人数	224	204	149	134	3,118	259.8	364		
一日平均利用者数		9.3	8.5	6.2	5.0	121	10.0	14.5		
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	219	199	147	131	3,069	255.7	361.2	
		復路	220	201	145	132	3,070	255.8	360.7	
		計	439	400	292	263	6,139	511.5	722	
	健康確認		224	204	149	134	3,118	139.0	364	
	入浴サービス		122	122	94	82	1,668	28.3	186.2	
	給食サービス		224	204	149	134	3,118	259.8	363.9	
	日常生活動作訓練		224	204	149	134	3,118	259.8	364	
	運動器機能向上		39	40	27	27	556	46.3	54.3	

(2) 要介護度別利用者数 (登録者数) (令和5年3月31日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
区分						
事業対象者	3	3	3	3	3	3
要支援1	2	2	2	2	2	2
要支援2	4	4	4	4	4	4
要介護1	15	13	12	12	12	13
要介護2	11	10	11	11	11	11
要介護3	2	2	2	2	1	2
要介護4	5	5	3	3	3	3
要介護5	2	1	1	0	0	0
合計	44	40	38	37	36	38
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分						
事業対象者	3	2	2	2	2	2
要支援1	2	3	3	3	3	2
要支援2	4	3	3	3	2	1
要介護1	13	12	11	10	9	8
要介護2	10	10	9	7	6	5
要介護3	2	2	3	3	4	4
要介護4	3	2	2	1	1	1
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	37	34	33	29	27	23

(3) 利用終了者の終了理由 (単位:人)

終了理由	男性	女性	合計
介護保険施設への入所	0	4	4
他デイサービスへの移行	6	31	37
辞退	2	3	5
死亡	1	2	3
合計	9	40	49

(4) 年間行事

実施期間	内容
5月9日～5月14日	園芸・野菜の苗植え
5月16日～5月21日	フラワーアレンジメント
6月20日～6月25日	演芸会 (マジック、ハーモニカ演奏 フォークダンス、フラダンス、ギター演奏)
7月18日～7月22日	夏祭り レクリエーション (魚釣り、射的、輪投げ) 演芸ボランティア (よさこい、つくし会) バイキング

8月24日	防災訓練（水害）
9月19日～9月23日	敬老会 演芸ボランティア （歌謡等、民謡、アンクルン、よさこい）
10月17日～10月31日	外出レクリエーション （見沼代親水公園、島忠ホームズ）
10月25日	演芸ボランティア（手話ダンス）
11月30日	防災訓練（火災）
12月5日～12月10日	クリスマスクラフト （プレゼントボックスとカード）
12月19日～12月24日	クリスマス会
1月5日～11日	お正月レクリエーション （羽子板ピンポン、カルタ、福笑い）
1月12日～1月18日	お正月クラフト（干支飾り）
1月26日	法話
1月28日	演芸ボランティア（リコーダー演奏）
2月1日～7日	節分豆まきレクリエーション
2月27日	防災訓練（地震）
3月7日	演芸ボランティア（ギター演奏）

(5) ボランティア受入状況

活動内容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア	1	2
演芸ボランティア	16	81
アロマハンドケア	12	64

(居宅介護支援事業)

(1) 契約者数の推移 令和4年度年間利用者延べ人数1,577人

年度 月	令和4年度			前年度		
	利用者数 (契約者)	新規	終了	利用者数 (契約者)	新規	終了
4月	125	3	4	155	0	3
5月	126	4	3	155	2	2
6月	126	6	6	149	1	7
7月	128	7	5	150	3	2
8月	127	5	6	150	3	3
9月	135	13	5	151	3	2
10月	136	7	6	150	2	3
11月	135	9	10	147	0	3
12月	134	3	4	146	4	5
1月	134	5	5	145	2	3
2月	136	8	6	142	1	4
3月	135	3	4	126	2	18
合計	1,577	73	64	1,766	23	55
月平均	131			147		

(2) 要介護度別請求人数 (令和5年3月31日現在)

区分	請求人数	
	令和4年度	前年度
要支援	0	0
要介護1	61	53
要介護2	45	37
要介護3	19	18
要介護4	14	10
要介護5	6	9
合計	145	127

(3) 年齢階層別利用者数 (令和5年3月31日現在)

年齢区分	利用者数	
	令和4年度	前年度
～ 64歳	3	3
65歳 ～ 69歳	5	8
70歳 ～ 74歳	11	9
75歳 ～ 79歳	19	14
80歳 ～ 84歳	30	28
85歳 ～ 89歳	35	34
90歳 ～	42	31
合計	145	127

(4) 男女別利用者数 (令和5年3月31日現在)

性別	利用者数	
	令和4年度	前年度
男性	48	41
女性	97	86
合計	145	127

(地域包括支援センター事業)

(1) 総合相談支援

令和4年度年間利用延べ件数5,899件

区 分		件 数	
		令和4年度	前年度
1 相談件数	電話	4,278件	4,023件
	来所	278件	278件
	訪問	1,343件	1,228件
	合 計 (年間延べ件数)	5,899件	5,529件
2 権利擁護	成年後見制度に関すること	4 (実件数)	9 (実件数)
	高齢者虐待に関すること	4 (実件数)	16 (実件数)
	合 計	8 (実件数)	25 (実件数)
3 介護予防ケ アマネジメン ト	介護予防サービス計画数	1,512件 (請求件数)	1,369件 (請求件数)
	介護予防・生活支援サービス計画数	1,190件 (請求件数)	1,181件 (請求件数)
	合 計	2,702件 (請求件数)	2,550件 (請求件数)
	特定高年齢者決定数	0件	0件
4 包括的・継 続的ケアマネ ジメント	地域包括ケア会議の開催	8回	10回
	事業者交流会の開催	2回	2回
	合 計	9回	12回
	ケアマネジャーからの相談	197件	69件
	サービス事業者からの相談	0件	0件
	合 計	216件	93件
5 その他	地域包括支援センター会議への参加	12回	12回
	保健師・看護師会議への参加	7回	5回
	主任介護支援専門員会議への参加	5回	3回
	社会福祉士会議への参加	10回	3回
	合 計	34回	23回

(2) 地域活動報告

事業内容	実施回数
介護者のつどい	11回
圏域内地域ケア会議	2回
谷塚中央地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚東部地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚中央地区民生委員意見交換会	1回
谷塚東部地区民生委員意見交換会	1回
個別地域ケア会議	5回
圏域内ケアマネ交流会	4回
圏域内事業者交流会	1回
認知症サポーター養成講座	2回
社会福祉協議会年度打合せ	1回
谷塚中央・谷塚東部地域ネットワーク会議	1回
出前講座	7回

草加市高年者福祉センター ふれあいの里

I 高年者福祉センター事業

1 各種事業・講座等の実施

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、高年者の生きがいがづくりや健康意識向上と介護予防に繋がる「ふれあいカレッジ」「シニア大学まなびあい」に加え、新たに運動機能の維持・向上を図ることを目的とした体力測定会を開催しました。

さらに、介護予防・認知症予防事業として「みんなで楽しく頭の体操」や「にこにこサロン楽楽」等を展開し、施設運営及び事業運営に努めました。

また、子供の学ぶ力を育み、地域の中で地域に住む子供を育てる世代間交流として、「ふれあいジュニア大学」を開校しました。

2 世代間交流事業

地域の活性化と地域住民との交流を目的とした世代間交流事業として、夏休みラジオ体操の再開や学習スペースを開放し、子供と高年者が交流する機会となる環境を整えました。

また、ふれあいの里登録サークルのほか、日頃当センターをご利用されている利用者（団体）、地域で活動している団体が一体となり、世代を超えて人との出会いやつながりの機会となることを目的とした「ふれあいの里文化祭～ときめき♡つながりあい～」を開催しました。

3 健康相談・生活相談等の実施

看護職員による血圧測定や嘱託医による健康相談を実施し、心身の健康維持や不安解消等の助言に努めました。

また、利用者が抱える様々な悩みや介護等の不安を軽減できるよう専門職員が生活相談を実施し、安心した生活を送れるよう支援しました。

4 すこやかクラブ、サークル活動団体等の利用促進と育成

市や社会福祉協議会等関係機関と連携を図り、すこやかクラブの利用促進に努めました。

サークル育成については、ふれあいの里主催事業をサークル化へ移行するための助言等を行いました。

5 入浴サービス（休止中）

入浴以外の癒しやリフレッシュの機会を提供するため、「いやしの足湯」を継続しました。

6 貸館事業

高年者の余暇活動の充実と交流等の場を提供するため、高年者やサークル等を対象に、和室・研修室等の貸出を行いました。

また、地域住民等に対しても、交流広場・多目的室等を開放するほか、和室・研修室等の貸出を行いました。

7 施設利用の促進

利用者のニーズに合わせた事業展開を行い、多くの方が利用できるよう市内主要駅周辺を基本ルートにマイクロバスによる送迎サービスを実施し、施設の利用促進を図りました。

また、利用者や市民からの苦情・要望等を真摯に受け止め、安心・安全で誰もが楽しめる施設利用に努めました。

(高年者福祉センター事業)

- (1) 令和4年度年間利用者延べ人数 39,887人
 (2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9) の合計値

- (2) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	59	66	61	140	55	37		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	66	91	36	36	50	44	741	1,064

- (3) 教養講座等の開催

期間	講座名	回数	参加延人数
4月7日～3月29日	みんなで楽しく頭の体操	40	1,497
4月15日～3月16日	にこにこサロン楽楽	11	173
4月25日～5月30日	のんびりヨガ(春コース)	6	97
5月10日～5月31日	これから始めよう介護予防運動①	4	53
5月18日～3月15日	介護予防啓発事業(共催事業)	10	166
5月25日	飾り巻き寿司を作ろう!	1	8
5月26日	体力測定会①	1	16
5月28日～6月3日	いやしの足湯(春)	7	156
6月7日～6月28日	みんなでズンバ♪①	4	52
6月24日	お料理女子会	1	8
6月29日～8月10日	のんびりヨガ(夏コース)	6	100
7月1日	七夕飾り	1	9
7月2日～11月21日	ふれあいカレッジ	16	353
7月2日～12月8日	シニア大学まなびあい	7	85
7月21日～8月26日	夏休み★ラジオ体操	32	308
7月22日～9月10日	ジュニア大学	5	58
8月31日～9月6日	いやしの足湯(夏)	7	143
10月7日	集まれ料理男子	1	8
10月11日～11月1日	これから始めよう介護予防運動②	4	45
10月13日～11月3日	やさしい水彩画教室	4	33
10月14日～11月18日	のんびりヨガ(秋コース)	6	92
11月24日	軍手人形～来年の干支卯を作ろう～	2	19
11月29日	体力測定会②	1	34
12月2日～12月23日	みんなでズンバ♪②	4	51

12月16日～12月22日	いやしの足湯（冬）	7	141
12月18日	ジュニア手作り教室	2	3
1月5日～2月9日	のんびりヨガ（冬コース）	6	97
2月7日～2月28日	これから始めよう介護予防運動③	4	57
2月19日	ふれあいの里文化祭 ～つきめき♡つながりあい～	1	356
3月7日	災害時の簡単調理！	1	9
	合 計	202	4,227

※他に開放事業として、ラジオ体操（毎朝）・大人のドリル（毎週月曜日）・ふれあいの里で初詣（1月4日～1月15）を実施しました。

(4) すこやかクラブの利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	9	13	10	13	5	12		
利用者数	123	144	132	121	65	111		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計
区分								
団体数	9	11	8	11	9	13	123	20
利用者数	115	133	114	136	130	157	1,481	259

(5) 高年者の送迎サービス状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
往 路	182	240	215	219	180	248		
復 路	182	240	215	219	180	248		
計	364	480	430	438	360	496		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計
区分								
往 路	252	285	239	257	288	333	2,938	267
復 路	252	285	239	257	288	333	2,938	255
計	504	570	478	514	576	666	5,876	522

(6) 浴室利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	0	0	0	0	0	0		
女	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) サークル活動の状況 (令和5年3月31日現在)

サークル名	会員数	活動回数	サークル名	会員数	活動回数
健康アップクラブ	23	22	花みずき	26	50
光友会	11	12	ファイヴステップ	9	46
コーラス風	16	38	フォークダンスクラブ金のくつ	9	22
琴晴会	4	0	芙蓉会	5	21
スピリチュアルヨガ	11	37	ふれあいの里健康体操の会	16	22
つくし会	10	24	よさこい新里	9	41
陶芸友の会	16	54	ポピー	14	44
陶芸ロクロの会	11	52	スイトピーヨガ	13	6
虹のキャンバス	14	19	寺ちゃんギターサークル	6	3
新里将棋同好会	34	357	合計	257	870

(8) 研修室等の利用状況

() 内は団体数 (単位:人)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
研修室 1・2・3	(69) 625	(73) 613	(85) 702	(87) 697	(80) 575	(86) 632	(83) 665
研修室4 調理実習室	(33) 272	(37) 331	(41) 326	(29) 281	(28) 331	(32) 324	(31) 295
音楽室	(42) 55	(43) 58	(42) 52	(37) 49	(36) 48	(30) 35	(34) 45
工芸室	(21) 157	(25) 154	(17) 136	(21) 152	(17) 140	(21) 169	(22) 177
和室 板の間	(8) 54	(8) 56	(9) 52	(8) 45	(10) 48	(7) 38	(10) 56
大集会室	(0) 0	(0) 0	(1) 15	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
小集会室	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
開放施設	1,578	1,641	1,689	1,680	1,709	1,508	1,678
合計	(173) 2,741	(186) 2,853	(195) 2,972	(182) 2,904	(171) 2,851	(176) 2,706	(180) 2,916
区分 \ 月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
研修室 1・2・3	(76) 593	(77) 639	(82) 632	(67) 640	(85) 775	(950) 7,788	
研修室4 調理実習室	(36) 312	(29) 247	(31) 289	(34) 291	(34) 303	(395) 3,602	
音楽室	(47) 54	(43) 48	(36) 42	(33) 50	(31) 54	(454) 590	
工芸室	(19) 150	(19) 159	(17) 148	(19) 146	(20) 173	(238) 1,861	
和室 板の間	(9) 67	(9) 52	(9) 59	(13) 85	(13) 74	(113) 686	
大集会室	(0) 0	(1) 40	(0) 0	(0) 0	(1) 14	(3) 69	
小集会室	(0) 0	(1) 12	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 12	
開放施設	1,585	1,349	1,362	1,416	1,599	18,794	
合計	(187) 2,761	(179) 2,546	(175) 2,532	(166) 2,628	(184) 2,992	(2,154) 33,402	

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	8	4	4	0	4	2	0	0	0	9	0	5	36

草加市障害者グループホーム ひまわりの郷

I 共同生活援助（グループホーム）事業

1 日常生活支援

- (1) 利用者の嗜好を考慮しながら栄養のバランスの取れた季節を感じ取れるような食事を提供し、満足度の向上を図りました。
- (2) 排せつ及び入浴について、利用者個々の能力や身体状況に応じた適切な支援を行いました。
- (3) 身だしなみや清潔さに配慮し、健康的な日常生活が送れるようアルコール消毒の徹底や三密を避けるなど新型コロナウイルス感染予防を講じた支援を行いました。
また、必要に応じて季節毎の衣替えや衣類等の整理・整頓の支援を行いました。
- (4) 衣料品、靴及び日用品等の購入代行を行い、充実した生活を送れるよう支援を行いました。

2 相談及び援助

利用者及びその家族等が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、利用者や家族等の相談に応じるとともに、適切な助言・援助等を行いました。

3 健康管理、服薬管理及び通院付添等

- (1) 利用者の心身の観察と疾病や感染症の予防等に努めるとともに、日中活動施設等との連携を取り、健康状態の把握に努めました。
また、利用者に対して新型コロナウイルスワクチン接種の支援を行い、感染予防に努めました。
- (2) 医療機関、家族等と連携し、服薬治療を必要とする利用者が適切に服薬できるよう、個々に合わせた介助及び支援を行いました。
また、通院の必要性がある場合は、必要に応じて付き添いの支援を行いました。
- (3) 身体機能の維持・向上及び心身のリフレッシュを目的に、日中活動施設等が休みの日には近隣への散歩や個々の状態に合わせた体操の機会を提供しました。

4 家族・日中活動施設等との調整

家族（又はそれに代わる支援者）及び日中活動施設等と連絡を密に取り合い、利用者の状況を的確に把握し、円滑で安定した生活を送れるよう支援しました。

また、家族等に適宜報告及び相談をしながら日中活動施設等との諸手続を行いました。

5 預り金等の財産管理

生活支援上必要な現金等の財産の管理について利用者に代わり家族等から依頼を申し受ける際には、現金の受け渡しや金庫への保管等、適切に取り扱いました。

6 地域交流

地域の行事等へは新型コロナウイルスの影響により、参加することは出来ませんでした。

7 余暇支援

レクリエーション活動や外出を通して、様々な体験をしながら利用者の心身のリフレッシュを図りながら、生活訓練の習得を兼ねた支援を行いました。家族の参加を呼びかけ、家族間交流の機会を設け家族等が安心できるよう取り組みました。

また、日中活動施設等が休館の場合は、利用者に洗濯や掃除などの生活に必要な技術の訓練を行い、自立した生活が送れるよう支援を行いました。

8 家族間交流

新型コロナウイルスの影響により、家族にも参加していただけるイベントを開催できありませんでしたが、家族会は定期的を開催し、ひまわりの郷の状況等、情報をお伝えするとともに、家族間の情報交換や交流の機会を設けました。

II 短期入所（ショートステイ）事業

1 緊急一時保護

地域生活支援拠点の担い手としての使命を果たすべく、市内の緊急かつ一時的な保護を必要とする障がい者に対して短期入所のサービスを実施しました。

また、短期入所の定員のうち1名分は、緊急一時保護のために確保しました。

2 介護の負担軽減（レスパイト）

居宅で障がい者を介護する家族等の負担を軽減するため、短期入所を実施しました。

3 生活訓練

障がい者自身の生活の質を高めるための生活訓練の機会として、サービスを提供しました。

(共同生活介護（グループホーム）事業)

(1) 入居状況（定員 30 人）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
人	男性	22	22	22	22	22	21
	女性	8	8	8	8	8	8
数	合計	30	30	30	30	30	29
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	男性	21	21	21	21	21	21
	女性	8	8	8	8	9	9
数	合計	29	29	29	29	30	30

令和4年度年間利用者延べ人数 10,664人

(2) 年齢別状況（令和5年3月31日現在）（単位：人）

性別	年齢	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	平均年齢
		34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	69歳	74歳	
男性		1	1	2	5	8	2	1	0	1	50.0歳
女性		1	1	0	0	3	2	1	1	0	52.0歳
合計		2	2	2	5	11	4	2	1	1	50.6歳

※ 最少年齢 33歳 最高年齢 71歳

(3) 障害支援区分（令和5年3月31日現在）（単位：人）

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	3	3	6	9	21
女性	0	3	3	3	9
合計	3	6	9	12	30

(4) 施設見学受入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人	0	0	0	1	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	0	1	0	0	0	0	2

(短期入所 (ショートステイ) 事業)

利用状況

(単位：人・日)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
訓練・レスパイト	3	3	6	3	0	0		
緊急	0	1	1	0	0	0		
合計	3	4	7	3	0	0		
延べ利用日数	5	20	16	7	0	0		
区分 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
訓練・レスパイト	5	3	4	1	2	2	32	
緊急	0	0	0	0	0	0	2	
合計	5	3	4	1	2	2	34	
延べ利用日数	16	8	18	5	5	5	105	

令和4年度年間利用者延べ人数 105人

障害者総合支援センター

I 基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援の実施

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障がい者やその保護者及び障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行うとともに、障がい者等に対する虐待の防止とその早期発見のための関係機関との連絡調整を行いました。

2 成年後見制度利用の支援

成年後見制度を利用することが有用であると認められる障がい者及び関係者に、利用に対する助言、情報提供を行いました。

3 地域の相談支援体制強化への取り組み

(1) 市内の相談支援専門員の支援力向上を図るため、相談支援事業所連絡会を年6回実施し、相談支援専門員の困りごとについての支援、地域資源の共有等を行いました。

(2) 複雑・困難なケースへの支援として指定相談支援事業所等の後方支援を実施するとともに、個別支援会議を適宜開催しました。

(3) 地域の相談支援事業者の人材育成支援のため、研修会の企画・運営を行いました。コロナ禍のため、オンラインでの対応もありました。

(4) 地域生活支援拠点等の整備における「体験の機会・場」を円滑に提供できるよう、クラウドシステムを活用した環境整備を行いました。

(5) 地域の福祉サービス事業者、医療機関、民生委員等との連携を図るよう努めました。継続した連携のほか、医療機関や地域包括支援センターからの依頼を受けて連携をする機会がありました。

(6) 障がい者差別解消支援地域協議会への参加、虐待防止センターと虐待に関する情報を共有し対応を検討する等、虐待防止や権利擁護に努めました。

4 特定相談支援事業の実施

(1) 障がい者の様々なニーズを把握するため、基本相談を実施しました。

(2) 利用者本位に立ち、アセスメントを実施し、サービス利用支援を行いました。

(3) サービス計画実施後のモニタリングを行い、継続サービス利用支援を行いました。

5 利用者の生活の質の向上

障がい者とその家族の地域生活を支援するため、多様なニーズへのきめ細やかな対応に努めました。一人ひとりの相談に応じ、それぞれの問題解決に向けて適切な情報提供や助言を行い、関係機関と連携し、必要な障害福祉サービス等に繋げていきました。

また、個別のケースを通じて把握したニーズや課題を自立支援協議会の運営等に活かし、地域生活支援拠点等の運用の動きとともに相談支援体制の整備につながるよう努めました。

創意工夫による柔軟な対応を心がけ、インフォーマルな支援を含め、身近な地域での継続的な関わりができるよう社会資源を活用し、適切な役割分担によりサービスの

向上を図りました。

6 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

II 東部障がい者就業・生活支援センター みらい

草加市障害者就労支援センター

1 就労相談

東部障がい者就業・生活支援センターみらい及び草加市障害者就労支援センター(以下「センター」という。)では、利用者又は家族その他支援機関や事業所からの就労及び職場定着に関する相談を行いました。この相談では、障がい特性の把握に関しアセスメントシートの作成を行い、支援の際の適切なツールとして活用しました。

2 アセスメント

基本は、電話予約にてセンターへ訪問していただき、初回面談の際にセンターの説明を行いました。継続的な支援を希望される方は引き続き面談等を通じてアセスメントを行いました。

さらに、基本的な労働習慣や障がいの自己理解などに不足が生ずる場合には、併設の提携施設等の訓練又は埼玉県職業能力開発センターの委託訓練や障害者職業センターの職業評価等を紹介し、様々な訓練を利用しながら状況把握を行いました。

3 就労前支援

利用者及びご家族のための企業見学の提案を行い、利用者の就労意欲の向上と本人の希望の確認等を行い、マッチングを図りました。そのために、様々な職種の職場実習先の開拓や関係機関の訓練を利用しながら、アセスメント兼体験の場及びマッチングの場として活用しました。

4 職場開拓

管轄ハローワークからの事業所情報を基本とし、事業所情報があった場合には、センターの職員が事業所の訪問や見学を行うとともに、事業所の職場環境と仕事内容を確認し、該当する利用者のイメージや障がい特性を基にマッチングを図りました。

また、センターの独自開拓や埼玉県障害者雇用総合サポートセンター及び他市の障害者就労支援センター等と連携を図り、地域企業の開拓を行い、情報の共有に努めました。

5 就労後支援（定着支援）

就労前や就労開始時期から集中的な支援が必要とされる場合は、ハローワーク、障害者職業センターや埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ派遣依頼、必要に応じて他市の障害者就労支援センターや施設、特別支援学校及びセンターで情報共有を行い、各機関が協力して支援ができるよう連携を図りました。

6 就労後支援（生活支援）

就労後から半年程度の定期的な訪問や連絡は、企業と利用者の状況を踏まえて行いました。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、訪問が不可な場合はZOOM等を活用し、オンラインにて状況の確認を行いました。

また、他市の障害者就労支援センターや施設、特別支援学校、障害者職業センター及び埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ等と連携を図りながら適切な支援を行いました。

定着支援に関しては、利用者の状況を踏まえて支援の頻度を減らしていき、本人が自立して働けるよう支援を行いました。同時に企業に対しては、センターの支援方針を理解いただきながら障がい者雇用が円滑に進められ継続できるよう支援しました。

7 地域ネットワークの構築及び活用

草加市障害者就労支援センターとして、地域の就労支援が円滑かつ効果的に行われるよう、草加市障害者就労支援連絡会を開催しました。

また、一般就労している障がい者に対して「職場定着セミナー」を定期的で開催し、働くことの基本的な労働習慣を学び、就労のモチベーションが維持できるようグループワーク等で話し合い職場定着の促進に結びました。さらに「ピアサポート活動」を開催し、障がい者同士の交流の場を提供し、支え合う気持ちをピアという方法で高め合いました。

そのうえ、東部圏域市就労支援センター連絡会を開催し、みらいを中心とした圏域内の各市障害者就労支援センターとの連携強化を図りました。

8 感染症対策

新型コロナウイルス感染予防として、センター内にはパーテーションを設置し、来客者や相談者には検温・手指消毒やマスク着用の協力を依頼し、消毒等を徹底しました。

9 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

(草加市基幹相談支援センター)

(1) 支援方法 (令和5年3月31日現在)

区 分	件 数	うち発達障害
訪問	680	26
来所相談	199	21
同行	134	11
電話相談	2775	134
電子メール	179	10
FAX・郵便	67	1
個別支援会議	178	9
関係機関連携	4,012	240
その他	26	0
合 計	8,250	452

(2) 登録者等人数 (令和5年3月31日現在)

種 別	人 数
登 録 者	573
うち一般相談	312

(3) 登録者等障がい別人数 (令和5年3月31日現在)

区 分	身 体	知 的	精 神	発 達 障 害	手 帳 な し	計
登 録 者	61	431	60	4	17	573
	【30】	【208】	【53】	【4】	【17】	【312】
重 複 障 害	23	51	7	0	0	81

【 】内は一般相談

(4) 計画相談 (令和5年3月31日現在)

種 別	人 数
新 規 計 画	7
モ ニ タ リ ン グ ・ 継 続 計 画	274
モ ニ タ リ ン グ	322

(5) 支援内容（令和5年3月31日現在）

区 分	件 数	うち発達障害
① 福祉サービスの利用に関する支援	6,204	319
② 障害や病状に関する支援	955	95
③ 健康・医療に関する支援	776	74
④ 不安の解消・情緒不安定に関する支援	432	16
⑤ 保育・教育に関する支援	59	0
⑥ 家族関係・人間関係に関する支援	779	75
⑦ 家計・経済に関する支援	348	9
⑧ 生活技術に関する支援	90	8
⑨ 就労に関する支援	221	14
⑩ 社会参加・余暇活動に関する支援	23	2
⑪ 権利擁護に関する支援	87	31
⑫ その他	72	4
合 計	10,046	647

(延べ件数)

(6) 関係機関との連携強化の取り組み（令和5年3月31日現在）

①主催

月 日	会 議 名
4月15日	第1回草加市自立支援協議会相談支援部会
5月18日	第1回草加市相談支援事業所連絡会
5月20日	第1回草加市自立支援協議会暮らし部会
6月15日	第2回草加市相談支援事業所連絡会
6月17日	第1回草加市自立支援協議会就労支援部会
7月15日	第1回草加市自立支援協議会全体会
7月15日	研修会「重層的相談支援体制整備事業について」
8月19日	第2回草加市自立支援協議会相談支援部会
9月16日	第2回草加市自立支援協議会暮らし部会
9月21日	第3回草加市相談支援事業所連絡会
10月19日	第4回草加市相談支援事業所連絡会
10月21日	第2回草加市自立支援協議会就労支援部会
11月18日	第2回草加市自立支援協議会全体会
11月18日	研修会「発達障害支援における多職種連携について」
12月16日	第3回草加市自立支援協議会相談支援部会 ※中止
1月18日	第5回草加市相談支援事業所連絡会
1月20日	第3回草加市自立支援協議会暮らし部会
2月15日	第6回草加市相談支援事業所連絡会

2月17日	第3回草加市自立支援協議会就労支援部会
3月17日	第3回草加市自立支援協議会全体会及び定例会

②他機関開催

5月30日	第1回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
8月1日	第1回成年後見事業運営委員会
8月29日	第2回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
9月5日	東部ブロック相談支援体制整備検討会議
11月7日	第3回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
1月19日	第1回ひきこもり勉強会
1月23日	第2回成年後見事業運営委員会
1月30日	第4回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
2月27日	第2回ひきこもり勉強会
3月22日	草加市障害児通所支援事業所連絡会相談部会

③講演依頼

3月8日	圏域合同 介護支援専門員向け勉強会(草加安行・谷塚西部)
3月23日	草加東部・草加稻荷地区合同 地域交流会

(東部障がい者就業・生活支援センターみらい)

(1) 相談件数 (来所・電話メール等含む)

区分	身体	知的	精神	その他	計
来所	76	435	394	4	909
電話・E mail	329	1,961	1,814	14	4,118
職場訪問	78	911	369	0	1,358
家庭・利用施設 への訪問	0	8	2	0	10
その他	0	5	3	0	8
合計	483	3,320	2,582	18	6,403

(2) 登録者等人数 (令和5年3月31日現在)

区分	人数
登録者	1,300
就職者	921

(3) 登録者等障がい別人数 (令和5年3月31日現在)

区分	身体	知的	精神	計
登録者	111	824	365	1,300
就職者	77	639	205	921

(4) 職場実習のあっせん状況

区分	身体	知的	精神	計
件数	3	14	28	45

(5) 一般事業所への就職件数 (*1カ月以上の雇用、A型除く)

区分	身体	知的	精神	計
件数	10	50	31	91

(6) 定着率 (1年経過時点、令和3年4月から令和4年3月末までの就職者) (%)

区分	身体	知的	精神	平均
定着率	86.7	79.5	78.9	81.7

(草加市障害者就労支援センター)

(1) 相談件数 (来所・電話メール等含む)

区 分	身 体	知 的	精 神	その他	計
来所	48	250	265	2	565
電話・E-mail	201	1,066	1,199	5	2,471
職場訪問	48	451	251	0	750
家庭・利用施設への訪問	0	4	0	0	4
その他	0	4	2	0	6
合計	297	1,775	1,717	7	3,796

(2) 登録者等人数 (令和5年3月31日現在)

区 分	人 数
登 録 者	612
就 職 者	415

(3) 登録者等障がい別人数 (令和5年3月31日現在)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
登 録 者	67	341	204	612
就 職 者	47	253	115	415

(4) 職場実習のあっせん状況

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	1	13	24	38

(5) 一般事業所への就職件数 (*1カ月以上の雇用、A型除く)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	6	28	19	53

(6) 定着率 (1年経過時点、令和3年4月から令和4年3月末までの就職者) (%)

区 分	身 体	知 的	精 神	平均
定着率	92.3	75.8	73.1	80.4

生活介護事業所 そよかぜの森

I 知的障がい者等向けサービス

1 日中活動

利用者の障がい特性や能力に応じ、個々が自分の力を最大限に発揮出来ること及び静かで落ち着いた環境の中で集中して活動に参加出来ることを目的とし、日々の活動に少人数のグループ制を取り入れました。

創作活動や音楽活動の他、足湯等のリラクゼーション活動を提供し、日々の充実と心の安定を図れるよう支援しました。

また、感染予防対策を行いながら季節を感じられる行事や壁面装飾等を実施し事業所で楽しめる活動の提供や、社会経験の一環として近隣の飲食店での食事を楽しむ外食プログラムを実施しました。

2 生産活動

利用者個々の能力を評価したうえでグループ編成を実施し、一人ひとりの特性に合わせた作業内容を提供しました。

作業活動による工賃支給を年に2回行い、工賃支給日には努力賞として賞状をお渡しし、工賃支給を分かりやすく体感出来るようにしたことで、働いたことの成果とその喜びを一緒に感じる事ができました。

3 健康の維持・増進

日課のラジオ体操、運動プログラムによる筋力・体幹トレーニング及び近隣の散歩等により基礎体力の向上を図りました。また、適宜体力測定を実施し個々の身体能力の評価を行いました。

4 食事サービス

給食委託業者と連携し、徹底した衛生管理・栄養管理の下、安全かつ栄養バランスの取れた食事を提供しました。

また、楽しみや季節感を意識し、メニューを選択できるセレクトメニューの実施や行事食の充実に努めました。

5 送迎サービス

利用者宅を考慮した独自の送迎ルートにより、法人所有の中型バスで草加市内を循環するスポット送迎を実施しました。また、密になりやすい環境に配慮し車内の換気や乗車時の健康確認、アルコールによる手指消毒を実施しました。

II 重症心身障がい者向けサービス

1 日中活動

利用者個々の能力や興味及び障がい特性を考慮した創作活動、講師による音楽療法や季節を感じられる行事の他、ボランティアによるムーブメント活動やミニコンサート、レクリエーション活動を実施しました。

また、スヌーズレンを定期的実施し、視覚・聴覚・触覚等の五感を刺激することで心地よさを得られるリラクゼーション活動を実施しました。

コロナ禍においては、密を避けるために室内を広く活用できるよう備品等の配置に配慮すると同時に、屋外活動を多く取り入れ外気浴や散歩等で心身のリフレッシュを図りました。

2 身体機能の向上

嘱託医による定期的な診察と、理学療法士・作業療法士による、専門的な理学療法と、その指導の下に計画された機能訓練を実施しました。訓練の実施にあたり、効率的に取り組めるよう訓練のスペースを十分に確保し実施しました。

3 食事サービス

給食委託業者と連携し、栄養バランスの取れた献立により食の楽しみや季節感を感じるとともに、徹底した衛生管理・栄養管理のある給食を提供しました。

また、利用者の障がい特性を考慮して、刻み・ペースト等の加工を行い、個別に対応した食事提供を行いました。

二十歳を祝う会のイベント食では、新たに二十歳になられた方たちのリクエストメニューを献立に取り入れ、特別感のある見た目も楽しい食事を提供しました。

4 送迎サービス

送迎を希望する利用者へ安全に配慮したドア to ドアによる送迎を行いました。

また、定期的にドライバーと会議を実施し、送迎コースや運行時間などの見直しや安全運転に配慮した運行及び添乗職員とドライバーの連携に努めました。

5 入浴サービス

ご自宅での入浴が困難な方を優先として、身体機能に配慮した特殊機械浴槽による入浴サービスを実施し、介護者の負担軽減と身体の衛生保持に努めました。

6 医療的ケア

嘱託医による定期的な診察を行うとともに、主治医からの指示・指導を受け、ご家族の同意の下、看護職員等による喀痰吸引及び経管栄養等の医療的ケアを実施しました。また、介護福祉士による喀痰吸引等の業務においては、安全かつ適正に実施できるよう喀痰吸引業務等安全委員会を年2回実施しました。

III 日中一時支援事業

利用者家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するとともに、家族の緊急時における利用者の一時預かりとして、日中一時支援事業を行いました。

IV 健康管理

嘱託医による定期的な診察の実施と看護職員によるバイタルチェック等から利用者の健康状態を把握し、必要に応じて、通院同行や電話連絡等による主治医及び関係機関と連携を取り、情報共有と利用者の健康管理に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染を含む感染予防に努め、利用時の健康確認を実施するとともに施設内の換気や消毒の徹底を行いました。濃厚接触者及び発症に対しては家族との連携のもと、迅速な対応を図るなどの感染の蔓延防止に努めました。

また、行政及び嘱託医と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種(3回目、4回

目)及びインフルエンザワクチン接種を事業所で接種できるよう支援しました。

V 相談援助

利用者や家族等からの相談に対し、個人面談や電話相談を実施し、必要に応じて関係機関と連携し迅速かつ適切な対応をしました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止による欠席日については、電話にて相談支援を行い、必要に応じて各専門職、関係機関と連携し、在宅での困りごと等に対応できるよう支援しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動報告会はリモートと対面のハイブリッド方式で実施し、家族との交流の機会を設けました。

VI 地域交流

コロナ禍により地域の方々との交流が制限される中、缶つぶし作業による近隣事業所への空き缶回収や換金業者への訪問等、交流が途絶えないよう取り組みました。

また、コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、可能な限り実習生を受け入れることで、事業内容や障がい者への理解を深め、誰もが支援者になれる意識を持てるよう取り組みました。

(生活介護事業)

(1) 利用者入退所状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的 障がい者	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	在所者	19	19	19	19	18	17	17	17	17	17	17	17	
重症 心身 障がい者	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在所者	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
在所者合計		37	37	37	37	36	35	35	35	35	35	35	35	

※ 前年度末在所者数：37人

※ 令和4年度年間利用者延べ人数：7,185人（内在宅支援者数：217人）

(2) 障害支援区分別 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均支援区分
知的障がい者	0	2	8	7	17	5.6
重症心身障がい者	0	0	0	18	18	
合計	0	2	8	25	35	

(3) 年齢別分布表 (令和5年3月31日現在)

①知的障がい者

(単位：人)

性別	年齢	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	合計	平均年齢
	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳			
男性		0	5	0	4	1	0	10	37.1歳
女性		0	3	3	1	0	0	7	32.2歳
合計		0	8	3	5	1	0	17	35.1歳

※ 最少年齢 24歳 最高年齢 58歳

②重症心身障がい者（令和5年3月31日現在）（単位：人）

年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
性別	19	29	39	49	59		合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳			
男性	0	7	1	0	0	0	8	25.0歳
女性	0	9	1	0	0	0	10	25.1歳
合計	0	16	2	0	0	0	18	25.0歳

※ 最少年齢 20 歳 最高年齢 38 歳

(4) 送迎サービス・入浴サービス利用実績（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送迎サービス	1,020	1,054	1,197	1,038	978	1,050	1,080	1,022	1,060	1,014	1,040	1,170	12,723
入浴サービス	40	32	77	73	62	73	68	63	73	65	69	80	775

(5) 医療的ケア実施状況（単位：人）

内 容	人 数	前年度実績
喀痰吸引	7	7
経管栄養	6	6
呼吸器管理	2	2

(6) 主な活動状況

月	内 容
毎 月	・エアロビクス（講師依頼）・運動（筋力トレ、卓球、他） ・音楽療法（講師依頼）・歌、楽器演奏 ・園芸 ・作業活動 ・リラクゼーション（散歩、外気浴、足湯、スノーブレン、他） ・アート（創作、絵画、壁面装飾、他）・レクリエーション
4月	訪問理美容（偶数月実施）
6月	5周年記念
7月、8月	ウォータレク
8月、9月	夏祭り
11月	ハロウィン
12月	クリスマス会、クリスマスコンサート
2月	二十歳を祝う会
3月	外食、お花見外出

(7) ボランティア受け入れ状況 (単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
音楽ボランティア	8日	8人
卓球ボランティア	19日	38人
活動ボランティア	10日	10人

(8) 日中一時支援事業利用実績

(単位：日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的障がい者	0	1	1	0	0	0	2	0	2	1	0	4	11
重症心身障がい者	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	2	6
合計	0	1	1	1	0	0	3	0	2	3	0	6	17